

事前評価チェックシート

計画の名称： 野洲市地域住宅整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

[illegible]

地域住宅計画

や す し ち い き じゅう た く せ い び け い か く
野洲市地域住宅整備計画

や す し
野洲市

令和6年1月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月18日

計画の名称	野洲市地域住宅整備計画														
計画の期間	令和 0 6 年度 ~ 令和 1 0 年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	野洲市														
計画の目標	市営住宅の計画的な改善・維持修繕の実施により、市営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減しつつ、誰もが安心して暮らせる住まいづくりを実現する。 市内空き家の実態を把握して野洲市空家等対策計画を改訂し、本市の空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施する。														
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		364	A	364	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和 6 年度	令和 8 年度	令和 1 0 年度
1	野洲市市営住宅長寿命化計画に基づく改修工事の実施（改修工事の実施率） 野洲市市営住宅長寿命化計画に基づき実施した改修工事の実施率 （実施率）＝（改修を実施した市営住宅の棟数）／（改修を予定する市営住宅棟数）	0%	75%	100%
2	市内空き家の実態把握（市内空き家の実態把握率） 市内空き家の実態把握率 （把握率）＝（把握した空き家の戸数）／（市内空き家の総数）	2%	2%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅整備事業）	市営住宅永原第 2 団地の建替等	野洲市	■	■	■	■	■	104		策定済	
	A15-002	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅ストック総合改善事業）	市営住宅の改善	野洲市	■	■	■	■		252		策定済	
	A15-003	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（空き家再生等推進事業）	空き家の実態把握	野洲市	■	■	■	■	■	8		-	
												小計						364		
											合計						364			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	5,242				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	5,242				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	5,242				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

公営住宅位置図

凡 例	
●	市営(公営住宅)団地
■	県営住宅団地

A-1 公営住宅整備事業

移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計

永原第2団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業

改善の設計、工事

吉地団地・永原第1団地

A-3 空き家再生等推進事業

空き家実態把握

市内全域

公営住宅位置図

凡 例	
●	市営(公営住宅)団地
■	県営住宅団地

A-1 公営住宅整備事業

移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計
永原第2団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業

改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-3 空き家再生等推進事業

空き家実態把握
市内全域

琵琶湖

吉地

木部

県営永原第2

永原第1

永原第2

県営上屋

新上屋

野洲駅

和田

小篠原

JR東海道本線

JR東海道新幹線

公営住宅位置図

凡 例	
●	市営(公営住宅)団地
■	県営住宅団地

A-1 公営住宅整備事業

移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計
永原第2団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業

改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-3 空き家再生等推進事業

空き家実態把握
市内全域

琵琶湖

吉地

木部

県営永原第2

永原第1

永原第2

県営上屋

新上屋

野洲駅

和田

小篠原

JR東海道本線

JR東海道新幹線

公営住宅位置図

凡 例	
●	市営(公営住宅)団地
■	県営住宅団地

A-1 公営住宅整備事業

移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計
永原第2団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業

改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-3 空き家再生等推進事業

空き家実態把握
市内全域

琵琶湖

吉地

木部

県営永原第2

永原第1

永原第2

県営上屋

新上屋

野洲駅

和田

小篠原

JR東海道本線

JR東海道新幹線

A-1 公営住宅整備事業
移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計
永原第2団地

A-1 公営住宅整備事業
移転補償費、解体設計、解体工事、建替工事実施設計
永原第2団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業
改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業
改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-2 公営住宅等ストック総合改善事業
改善の設計、工事
吉地団地・永原第1団地

A-3 空き家再生等推進事業
空き家実態把握
市内全域

A-3 空き家再生等推進事業
空き家実態把握
市内全域

A-3 空き家再生等推進事業
空き家実態把握
市内全域